

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	国土保全特別対策事業	会計	一般会計	事業No.	557	施策順No.	11-068
		事業種別	政策・その他	予算科目	6-1-7-26-1		
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	土木課		
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	12	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	用排水路(利用する農地、受益者及び流域住民)						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	対象をどう変えるか	対象水路延長:m		326	415	190	120	
意図	農作業の効率化							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	改修済延長:m	347	303	250.4	190	207.3	120	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	計画的に事業を行い目標を達成できた。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	農山漁村地域が果たしている国土保全のため重要かつ多面的な役割の維持増進を図るため、農地の付帯施設である用排水路の整備を行い、農地の保全を進めるとともに、これにより生産基盤・生産条件の改善を進め、農作業の効率化を図る。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	工事施工(水路改修) 4地区 (1)御用水 (2)次郎井 (3)河原 (4)島田井	施工延長 (1)御用水 (2)次郎井 (3)河原 (4)島田井	合計 L=200.3m (1)L=93.7m (2)L=42.6m (3)L=41.0m (4)L=24.0m
23年度実施計画	工事施工(水路改修) 4地区 (1)御用水 (2)山下井 (3)島田井	施工延長 (1)御用水 (2)山下井 (3)島田井	合計 L=120m (1)L=30m (2)L=60m (3)L=30m

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金				特定財源内訳、補足事項 (地)国土保全特別対策(充当率75%)
		県支出金				
		起債	10,600	10,600	10,100	
		その他				
		一般財源	3,632	3,630	3,500	
	計(A)	14,232	14,230	13,600		
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		0			
	トータルコスト A+B		14,230			

4 事業に対する市民や議会の意見

過疎化や農家の高齢化等の進展により、用排水路の保全管理が困難になり、老朽化が一層進み地区からの改修要望が多く寄せられている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	当農の合理化による増収が図れ、荒廃・遊休農地の増加が抑制され、農村景観・自然環境を保持すると共に災害の未然防止等国土保全が図られる →事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	既存農業者の産出額(農業):億円
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	農地の付帯施設である用排水路の整備を行い、農地の保全を進めるとともに、これにより生産基盤・生産条件の改善を進め、農作業の効率化を図られた。		
	後期に向けた課題	過疎化や農家の高齢化等の進展により、用排水路の保全管理が困難になり、老朽化が一層進み地区からの改修要望が多く寄せられているので、計画的な事業実施をする。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	工法等を見直し、コストの縮減を図る。		
	後期に向けた課題	工法等を見直し、コストの縮減を図る。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	経費の縮減と再生材の使用。		
	後期に向けた課題	経費の縮減と再生材の使用。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてみましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	特になし。		
	後期に向けた課題	特になし。		
全体を通じて	4年間の振り返り	農地の付帯施設である用排水路の整備を行い、農地の保全を進めるとともに、これにより生産基盤・生産条件の改善を進め、農作業の効率化を図られた。		
	後期に向けた課題	過疎化や農家の高齢化等の進展により、用排水路の保全管理が困難になり、老朽化が一層進み地区からの改修要望が多く寄せられているので、計画的な事業実施をする。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------